

# 平成十一年度現代宗教研究所事業計画案

## 1、教化研究会議

(1) 第三十二回中央教化研究会議

● 期日九月上旬一泊二日

● 会場未定

● 管区教研運営委員参加

● 四部会制で運営。教務部・現宗研スタッフにて運

営会議を開き、内容を協議し企画・運営などの要綱を決定する。会議資料を作成する。

(2) 教区教化研究会議の開催運営

● 十教区十一箇所にての開催運営。

● 中央教研との関連を踏まえ、各教区・管区で教学の現代化に関連するテーマを企画し、日常現場での教化の充実を図る。

● 管区運営委員と協議し、地域の独自性を加味し、企画・準備・運営に取り組む。

## 2、研究部門

(1) 日蓮教学の現代化。中央教研の部会や現代教学研究

プロジェクトの成果を踏まえて研究員を中心に「日蓮教学を現代にどのように説くか」について研究を行う。

(2) 教化学研究。教化学研究集会を年二回開催し、教化

のあり方、現代教化の方策を研究しまとめる。

(3) 日蓮主義研究。法華経・日蓮聖人研究セミナーを開催し、現代の諸問題と教学・教化について研究をすすめる。

(4) 教団論研究。教団論研究懇談会を開催する。伝道教団プロジェクト会議を開催し、伝道教団としての歴史を踏まえた上で、信行論・寺院論・僧侶論・教化論・教育論、また宗門の組織機構・教師の資質・布教教化など、教団の現状とあるべき方向を研究する。

(5) 研究例会。教化学を共通研究課題とし、研究員各自のテーマをそれぞれの立脚点として、研究を継続し、成果を発表する。

(6) 新宗教研究。法華系新興教団を中心に、新しい時勢に応じた研究を行う。

(7) 教団史研究会。明治以降の近代日蓮教団史を中心として、他教団との関わりについて研究する。

(8) 中央教研部会別研究。日蓮宗医療問題研究会では、「日蓮宗ビハーラ講座」を開催する。その他、中央教研での部会別研究プロジェクトを発足し、年間を通して継続して研究をすすめる。

青少年問題調査研究会では、いじめ問題の資料収集と現況報告書の作成を行う

(9) 仏教各宗教化関係研究機関連絡協議会への参加。

### 3、調査部門

(1) 伝道教団寺院調査。佐渡ヶ島の調査におけるまとめ作業と基礎資料の収集をする。

### 4、資料部門

(1) 日蓮宗教化センターの設置を目指すとともに、各地

域教化センターとの連絡会議を開き、教化研究・布教資料などの交換を図り、収集に努める。

(2) 図書を購入し、コンピュータにより蔵書を管理する。

(3) 布教・教化・伝道等に関するビデオの購入・保管。

(4) 各種教化資料を収集し、保管する。

(5) 日蓮正宗、創価学会などをはじめ法華系教団に関する資料を収集し、保管する。

(6) 「現代宗教研究」第三十四号の発行。

(7) 平成十年日蓮宗年表の発行。

(8) 教化シリーズの発行。

### 5、会議

(1) 地域教化センター連絡会議を開催し、各教化センター間の交流、情報交換などを行う。

(2) 「『教区教化研究会』連絡会議」を開催し、各教区の教研運営委員とともに各教区教研間の協力と調整を図り、一層の充実を目指す。

(3) 顧問会議・嘱託会議・研究員会議の開催。